

平成26年度

北海道立生涯学習推進センター
事業実施状況
(平成27年1月末現在)

北海道立生涯学習推進センター

目 次

1 調査・研究

- (1) 調査・研究 1～5
- (2) 企画・研究相談 6

2 指導者の養成・研修

- (1) 主催研修事業 7～9
- (2) 自主研修団体受入事業 10
- (3) 職員派遣事業 10

3 学習情報の提供・相談

- (1) 学習情報の提供 11
- (2) 学習相談 11
- (3) 家庭教育相談 12
- (4) 資料の収集、展示及び提供 13～14

4 学習機会の提供

- 道民カレッジ 15

5 教育メディアの利用促進

- (1) 視聴覚教育に関する教材の収集・整備 16
- (2) 視聴覚教育に関する教材の貸出し 16
- (3) H26年度新着教材リスト 17～18

1 調査・研究

(1) 調査・研究

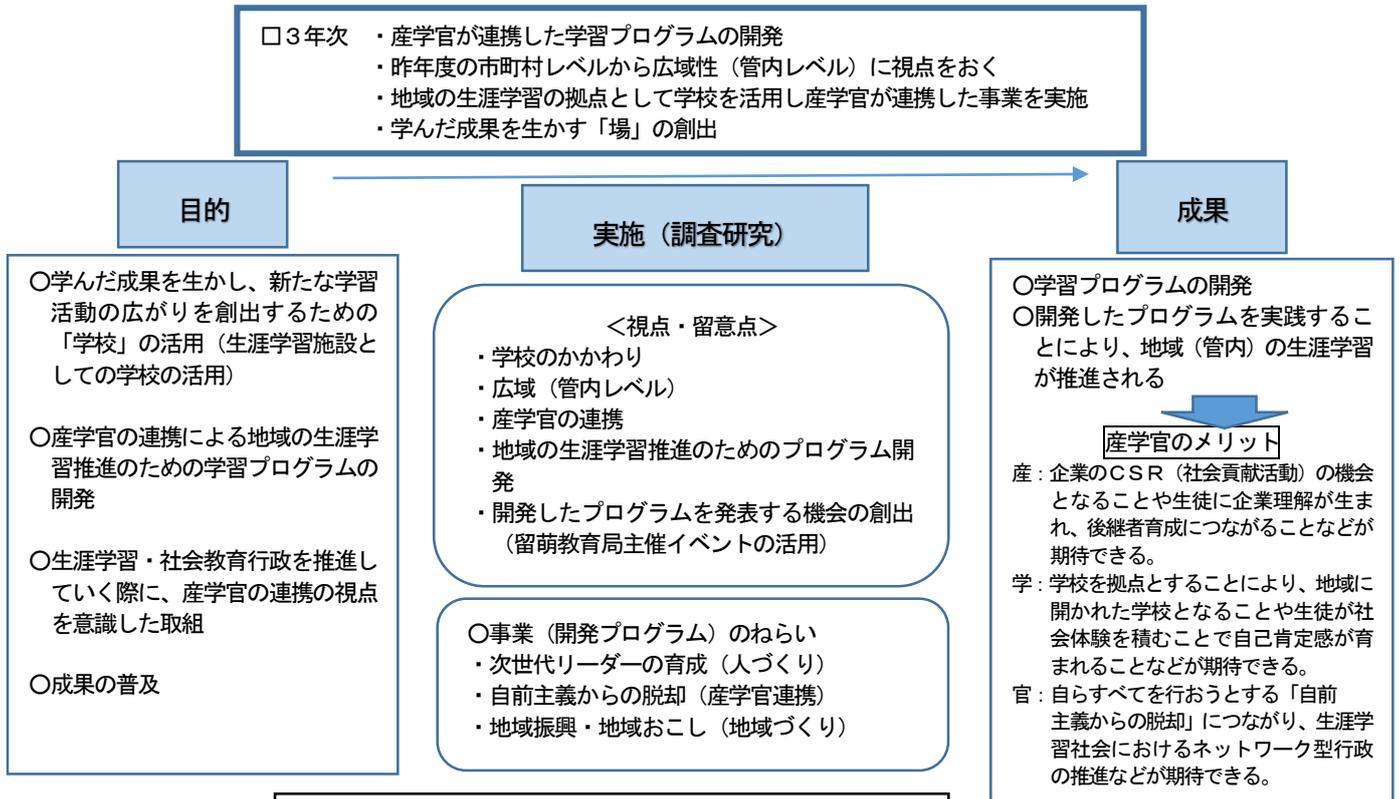
研究課題	研究の概要	
	研究テーマ	内容
①生涯学習の振興に関する調査研究	地域の生涯学習推進に向けた産学官の連携による学習プログラムの開発に関する調査研究Ⅲ	地域の生涯学習の拠点として、従来から大きな役割を担っている公民館や生涯学習センター、図書館等の施設に加えて、新たな学習活動の広がりを創出するために高等学校等を地域の拠点とした学習プログラムを開発する。 (3年計画の3年次) *概要はP 2～3を参照
②当面する課題に関する調査研究	学習成果を活用して地域活動に参画する人材を育成する学習プログラムの開発に関する調査研究Ⅱ	市町村（広域を含む）やNPO・民間団体等との連携・ネットワークを構築しながら、学習成果を活用して地域活動やまちづくりに貢献する人材を育成する学習プログラムを開発する。 (2年計画の2年次) *概要はP 4～5を参照

平成26年度 調査・研究計画書「生涯学習の振興に関する調査研究」(概要)

調査・研究の目的	市町村(広域を含む)やNPO・民間団体等との連携・ネットワークを構築しながら、地域の生涯学習の拠点を従来の社会教育関連施設だけではなく、学んだ成果を生かし新たな学習活動の広がりを創出するために、学校を「拠点」とした産学官の連携による学習プログラムを開発する。そのモデルプラン並びに成果を広く道内市町村等に普及することにより、本道の生涯学習及び社会教育行政推進に寄与することを目的に本調査研究を実施する。			
主題	地域の生涯学習推進に向けた産学官の連携による学習プログラムの開発に関する調査研究			
主題設定の理由	<p>社会の急激な変化に伴い、我が国の教育を取り巻く環境が大きく変化してきている。平成25年6月に策定された教育振興基本計画においては、社会のつながりの希薄化などが指摘される中において、「絆づくりと活力あるコミュニティ」の形成を図るために、学習活動を通じて「社会が人を育み、人が社会をつくる好循環システム」を構築していくことが重要であると示された。具体的には、学校や公民館等を地域コミュニティの拠点として位置づけ、学習することなどを通じ多様な主体によるネットワークを構築していくことで社会教育行政の再構築を図ることが大切であるとされている。</p> <p>こうした中、北海道教育推進計画においても青少年や家庭・地域における様々な課題に対し、地域住民の参画・協力を促進していくことや住民が地域の一員としての自覚を持ち、地域づくりの活動に主体的に参画できるよう産学官が連携・協力し地域づくりへの住民の参画・協働を促す社会教育活動を促進することが示されている。</p> <p>このような状況を踏まえ、北海道立生涯学習推進センターでは、平成24年度から3カ年計画で「地域の生涯学習推進に向けた産学官の連携による学習プログラムの開発に関する調査研究」に取り組んでいる。1年次は、理論研究及び先行事例の調査を行った。2年次は、むかわ町内の学校を拠点して産学官の連携による学習プログラムの開発に取り組んだ。3年次は広域性に視点をおいた産学官が連携した学習プログラムを開発し、学校を地域コミュニティの拠点として位置づけることや産学官が連携しながら学習プログラムを展開していくことが、本道の生涯学習及び社会教育行政推進に寄与すると考え、本主題を設定した。</p>			
内容	1 地域の生涯学習推進に向けた産学官の連携に関する文献等の収集及び分析		2 学校を生涯学習の拠点とし、産学官の連携による学習プログラムの開発	
方法	・これまでに示されている法律、答申、各種調査報告等について資料収集及び整理・分析する。	・平成26年度全道社会教育主事等研修会、各ブロック研修会、地域生涯学習活動実践交流セミナーの事例発表等により研究する。	・モデルプラン作成のため、留萌管内を対象として研究する。	・調査研究報告書を作成し、HPに掲載するとともに、地域生涯学習活動実践交流セミナーで報告する。
計画	<p>4月 ○調査研究計画の検討 ○ヒアリング調査(随時)</p> <p>5月 ○調査研究計画の立案 ↓</p> <p>6月 ○文献、資料等の収集と理論研究(随時) ○モデルプラン実施管内(留萌管内関係者への依頼)</p> <p>7月 ○産学官関係者による事前打ち合わせ</p> <p>8月 ○産学官関係者による企画検討会議の実施</p> <p>9月 ↓</p> <p>10月 ○地域の生涯学習推進に向けた産学官の連携による学習プログラム開発に関する事業の実施(1回目)</p> <p>11月 ○地域の生涯学習推進に向けた産学官の連携による学習プログラム開発に関する事業の実施(2回目・3回目)</p> <p>12月 ○事例研究に基づいたモデルプランの検討、作成 ○調査研究結果の整理・分析 1月 ↓ ○調査研究報告書の作成</p> <p>2月 ○調査研究概要を実践交流セミナーで発表 ↓</p> <p>3月 ○調査研究報告書HP掲載</p>			
報告書の様式	報告書を作成し、PDF化し、Web(生涯学習ほっかいどう)で公開(関係者へデータを送付)			

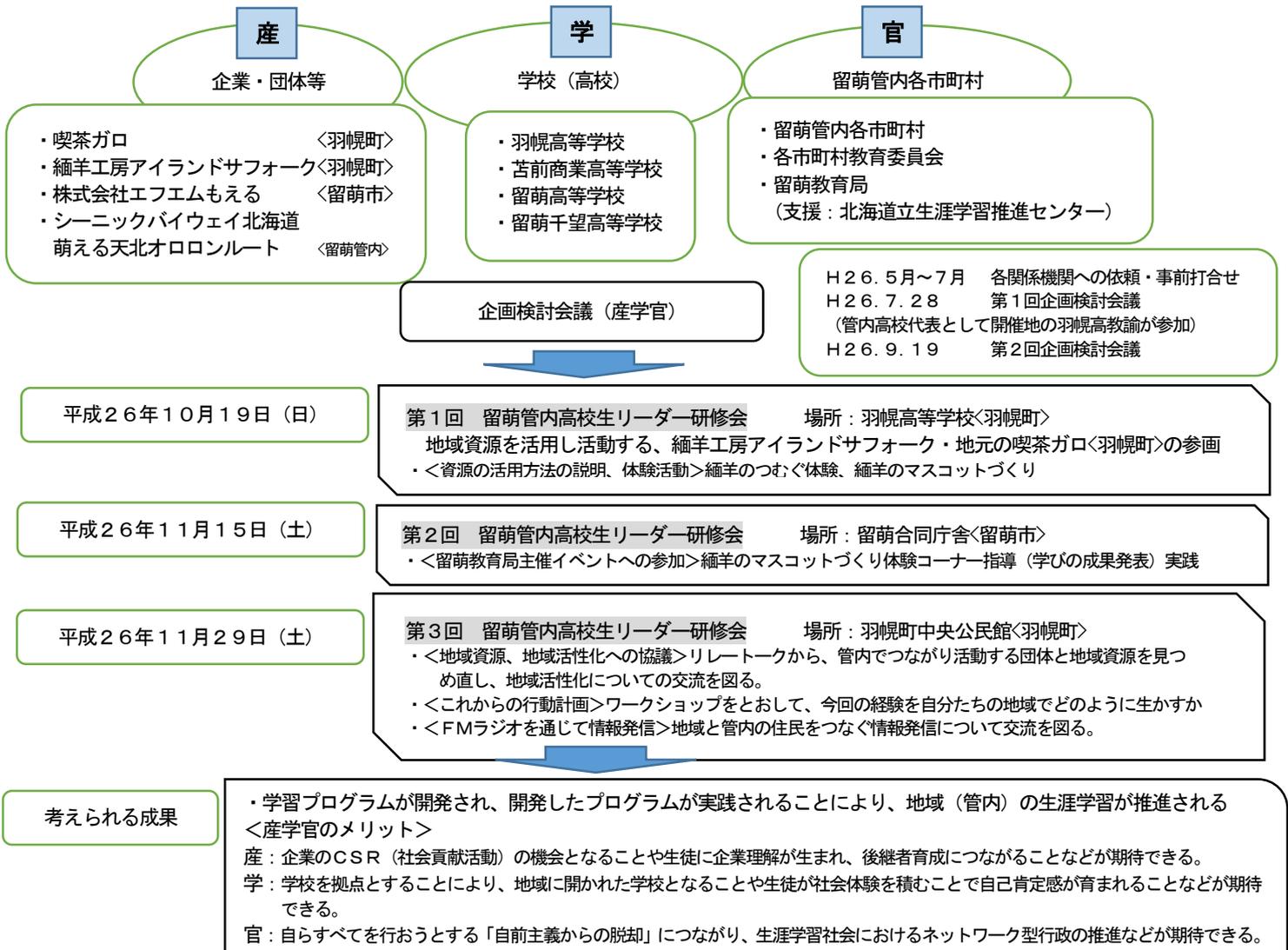
3年次の調査研究の概要

1 調査研究のイメージ



2 モデル事業の概要

留萌管内のモデル事業 【管内高校生リーダー研修会】



3 今後の方向性

生涯学習、社会教育行政を推進していく際に、産学官の連携の視点を持つ

調査研究の目的	<p>当面する課題である「個人の自立（人づくり）に向けた学習」「絆づくり（社会関係資本の構築）・地域づくりに向けた体制づくり」の向上を目指して、北海道内の市町村における取組実態や意識等を整理する。また、それぞれの視点に応じたモデルプランを示し、今後の事業の方向性や目指すべき支援体制などを提言することにより、道内社会教育行政及び生涯学習の推進に寄与することを目的に本調査研究を実施する。</p>								
主 題	<p>持続可能な発展のための教育に関わる諸問題に対応する人づくり、体制づくりに関する調査研究</p>								
主題設定の理由	<p>今日、グローバル化や情報通信技術の一層の進展に伴って、人・モノの流動化・多様化が進み我が国の経済・雇用環境は変化が激しく、先行き不透明な厳しい状況になっている。また、既に本格的な少子・高齢社会に突入し、今後、急速な高齢化と人口減少が予想される中、都市化・過疎化や家族形態の変容、価値観やライフスタイルの多様化等により、地域社会における人間関係の希薄化や人々の孤立化が指摘されている。</p> <p>我が国が、こうした状況や危機を乗り越え、新たな付加価値を創造する社会へと転換して、人々の成長について享受できるようにするために、子どもについては「生きる力」、成人については、自立した一人の人間として力強く生きていくための「総合的な力＝成人力」の向上・底上げが不可欠となる。この「生きる力」や「成人力」については、学校教育など人生のある一時期やある場所のみで身につけられるものではなく、生涯にわたって、多様な場で様々な学習経験を積む中で、身につけられるものである。</p> <p>そのような中、個々人が積極的に社会に参画し、他者と協働しながら主体的に「互助・共助」による活力ある地域づくりに貢献していこうとする気運が見られる。こうした気運を持続的なものとし、各地で地域住民の協働による地域課題の解決や地域の活性化などに向けた地域づくりの取組を促進するためには、地域住民が学習を通じて住民意識を高め、必要な知識・技術等を身につけその成果を社会参画や社会貢献の活動につなげていけるようにするための実践的な学習機会の提供が重要となる。</p> <p>平成25年4月の中央教育審議会における第2期教育振興基本計画（答申）第1部総論では、我が国の危機回避に向け、「社会を生き抜く力の養成」や「未来への飛躍を実現する人材の養成」、「学びのセーフティネットの構築」、「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」について、4つの基本的方向性が示されている。そして、一人一人が誇りと自信を取り戻し、社会の幅広い人々が実感できる成長を実現させることが提言されている。さらには、北海道教育推進計画においても、これからの社会を担う人を育むことや心豊かに、ともに支え合い、ふるさとに誇りを持つ人を育むことなどが基本理念として掲げられている。</p> <p>このような状況の中、本調査研究では、これからの人づくり、絆づくり・地域づくりに向けた体制づくりの取組について、北海道内の市町村における取組の実態や意識等を整理するとともに、それぞれの視点に応じたモデルプランを策定し、今後の具体的な事業や目指すべき支援体制の在り方を提言することにより、道内社会教育行政及び生涯学習行政の推進に寄与するため、本主題を設定した。</p>								
内 容	<p>市町村における具体的な取組事例を整理し、それぞれの視点に応じたモデルプランを策定することにより、よりよい事業や支援体制の在り方を提言する。</p> <table border="1" data-bbox="244 1570 1374 1682"> <tr> <td data-bbox="244 1570 584 1682">1 文献研究 ・文献、他都府県等の先進事例等の情報収集</td> <td data-bbox="584 1570 975 1682">2 人づくり、体制づくりに関する取組事例の整理及びモデルプランの策定</td> <td data-bbox="975 1570 1374 1682">3 事業、支援体制等の提言 ・具体的な事業や目指すべき支援体制の在り方の提言</td> </tr> </table>			1 文献研究 ・文献、他都府県等の先進事例等の情報収集	2 人づくり、体制づくりに関する取組事例の整理及びモデルプランの策定	3 事業、支援体制等の提言 ・具体的な事業や目指すべき支援体制の在り方の提言			
1 文献研究 ・文献、他都府県等の先進事例等の情報収集	2 人づくり、体制づくりに関する取組事例の整理及びモデルプランの策定	3 事業、支援体制等の提言 ・具体的な事業や目指すべき支援体制の在り方の提言							
方 法	1 文献研究 ・文献、資料等をもとにした事例の確認	2 取組事例の整理 ・人づくり、体制づくりに関する道内市町村の取組事例の整理	3 モデルプラン策定 ・各視点に応じたモデルプランの策定 4 研究報告書の作成 ・調査研究の概要を掲載した研究報告書（ホームページ掲載）の関係機関へのデータを送付						
年間計画	<table border="1" data-bbox="244 1872 1374 1989"> <tr> <td data-bbox="244 1872 780 1912">1 調査研究計画の策定（4月）</td> <td data-bbox="780 1872 1374 1912">2 文献研究・取組事例整理（～7月）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="244 1912 780 1953">3 実態調査の実施（～11月）</td> <td data-bbox="780 1912 1374 1953">4 モデルプラン策定（～1月）</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="244 1953 1374 1989">5 研究報告書の作成、ホームページ掲載（～3月）</td> </tr> </table>			1 調査研究計画の策定（4月）	2 文献研究・取組事例整理（～7月）	3 実態調査の実施（～11月）	4 モデルプラン策定（～1月）	5 研究報告書の作成、ホームページ掲載（～3月）	
1 調査研究計画の策定（4月）	2 文献研究・取組事例整理（～7月）								
3 実態調査の実施（～11月）	4 モデルプラン策定（～1月）								
5 研究報告書の作成、ホームページ掲載（～3月）									
報告書の様式	<p>報告書を作成し、PDF化しWeb（生涯学習ほっかいどう）で公開（関係者へデータを送付）</p>								

2年次の調査研究の概要

目的

市町村（広域を含む）やNPO・民間団体等との連携・ネットワークを構築しながら、学習成果を活用して地域活動やまちづくりに貢献する人材を育成する学習プログラムを開発し、市町村等に普及することにより、地域の学習活動の活性化を図ることを目的に本調査研究を実施する。

内容1

- 学習成果を活用して地域活動に参画する人材を育成する学習プログラムの開発に関する文献等の収集及び分析
 - ・学習成果を活用して地域活動に参画する人材の育成に関して、これまでに示されている法律、答申、各種調査研究報告、研究者による研究報告等について資料収集を行い、整理・分析し、本調査における取組の視点・論点を整理する。
 - 法律・答申等) H18 教育基本法、H20 社会教育法、H11 生涯学習審議会答申「学習の成果を幅広く生かす」 H22 北海道生涯学習審議会答申 等
 - 各種調査等) H25「学習成果を活用して地域活動に参画する人材を育成する学習プログラムの開発に関する調査研究」 等

内容2

〔対象：講座受講者〕

- 学習成果を活用して地域活動に参画する人材を育成する学習プログラムの開発に関する意識調査（アンケート調査）
 - H25 道民カレッジ「地域活動推進講座」受講者を対象（4町51名）に、講座後の受講者の地域活動への参画状況（現状と課題）や学習プログラムの有効性について把握する。
- 【調査の視点】
 - 地域活動に参画する人材を育成するために効果的な学習プログラムとなっていたか（成果と課題）
 - 受講者の地域活動への参画の実態

内容3

〔対象：教育委員会職員〕

- 学習成果を活用して地域活動に参画する人材を育成する学習プログラムの開発に関する意識調査（アンケート調査）
 - H25 道民カレッジ「ほっかいどう学地域活動推進講座」実施4町の教育委員会担当職員を対象に、住民の社会参画に向けた社会教育行政としての働きかけの実態（現状と課題）や講座後の住民の社会参画に関する具体的な取組事例を把握する。
- 【調査の視点】
 - 地域活動に参画する人材を育成するために効果的な学習プログラムとなっていたか（成果と課題）
 - 住民の地域活動への参画に向けた社会教育行政の効果的な支援の在り方

集計・分析

- 調査票の回収・集計
郵送法
- 結果の分析⇒ 結果の公表

報告

- 平成26年度「地域生涯学習活動実践交流セミナー」で発表
- 報告書の作成・発行（Web公開）

《調査研究の成果として期待されること》

- ◆ 平成25年度道民カレッジ主催事業「ほっかいどう学地域活動推進講座」の学習プログラムが、学習成果を活用して地域活動に参画することができる人材を育成するために効果的な学習プログラムであったかを検証することにより、その成果が明らかとなる。
- ◆ 検証結果や道内4ブロックの取組事例等から、学習成果を活用して地域活動に参画する人材を育成するためにさらに効果的な学習プログラムを開発することができる。

(2) 企画・研究相談

ア 事業概要

事業名	事業の概要		
	期間		内容
企画・研究相談	通年	市町村・市町村教育委員会職員、生涯学習指導者等	市町村教育委員会等の生涯学習・社会教育に関する相談に応じ、指導及び助言を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習、社会教育の推進に関すること。 ・生涯学習、社会教育の調査・研究に関すること。 ・生涯学習、社会教育の文献・資料に関すること。

イ 相談状況（1月末現在）

所属	項目		計	(H25)
	1	道民	15	7
2	行政（市町村教育委員会等）	106	81	
3	学校	16	8	
4	各種団体（社会教育関係団体等）	18	5	
5	その他	1	0	
計		156	101	
		前年同月比		
		+55		
		H25総件数 114		

相談内容	項目		計	(H25)
	1	文献・資料	23	20
2	生涯学習計画・社会教育計画	5	7	
3	社会教育調査・評価	2	2	
4	施設・団体	12	7	
5	学習機会・各種事業	56	13	
6	講師・指導者	17	27	
7	資格・各種制度	15	9	
8	その他	26	16	
計		156	101	

前年同月比
+55
H25総件数 114

2 指導者の養成・研修

(1) 主催研修事業

※「受講者数/定員」の()内は平成25年度実績

事業名	期日・会場	受講者数/定員	対象	内容
課題対応型 学習活性化 セミナー	札幌市 9月4日(木) ～5日(金) (2日間) 〔会場〕 かでの2・7	56/40 (60/40)	市町村・市町村 教育委員会 職員、各種審 議会委員、社 会教育関係団 体職員、生涯 学習関連施設 職員、民間団 体(NPO、企業 等)関係者等	〔研修テーマ〕 地域の存続につながる後継者の育成 ～人口減少・若者の流出に「待った」 をかける地域づくりを考える～ 〔講義〕 プロデュース JK課プロジェクト ～地域の若い力を活用した魅力ある地 域づくり～ NEET株式会社代表取締役会長 慶應義塾大学特任教授 若新 雄純 氏 〔ワークショップ①②〕 後継者の育成となる若者の育成と 「魅力あるまちづくり」について考え る NEET株式会社代表取締役会長 慶應義塾大学特任教授 若新 雄純 氏 〔全体会〕 進行：生涯学習推進センター職員
遠隔学習プログ ラム研修講座	札幌市 10月24日(金) (1日間) 〔会場〕 かでの2・7	35/30 (59/30)	市町村・市町村 教育委員会 職員、民間団 体(NPO、 ボランティア 等)関係者、 学校職員、そ の他(ボラン ティア活動や 地域活動に関 心のある方、 地域の学習リ ーダー)等	〔研修テーマ〕 いつでも・どこでも学べる環境づく りの構築を目指して 〔講義〕 生涯学習推進における遠隔学習の可 能性 ～e-Learningで変わる学びのプロセ ス～ 北海道大学大学院情報科学研究科 教授 山本 強 氏 〔演習・グループワーク〕 タブレット端末を活用した遠隔学習 の手法 株式会社ラプト代表取締役・札幌大 学非常勤講師 小賀 朋加 氏
生涯学習推進 基本講座 (道央会場) 空知管内	芦別市 平成27年 1月22日(木) ～23日(金) (2日間) 〔会場〕 芦別市民会館	42/30 (19/30)	市町村・市町村 教育委員会 職員、各種審 議会委員(社 会教育委員、 生涯学習審議 会委員など)、 生涯学習関連 施設(児童館、 勤労青少年セ ンターなど) 職員等	〔研修テーマ〕 社会の要請にこたえた生涯学習・社 会教育の推進について ～住民の協働による地域活動の充 実を目指して～ 〔講義〕 住民の協働による地域活動の充実を 目指した生涯学習・社会教育の推進に ついて 生涯学習推進センター職員 〔事例発表〕 住民の協働による事業(実践事例) について ①水土里ネット推進室室長 高柳 広幹 氏 ②空知社会教育研究協議会副会長 井口 純一 氏 〔ワークショップ〕 A：リーダーの発掘・養成のための人 材育成について B：関係団体との連携のあり方につ いて 生涯学習推進センター職員 〔全体交流〕 生涯学習推進センター職員

(道南会場) 渡島管内	函館市 10月2日(木) (1日間)	31/30 (17/30)		〔個別相談〕 生涯学習推進センター職員
	〔会場〕 渡島総合振興局			〔研修テーマ〕 社会の要請にこたえた生涯学習・社会教育の推進について ～地域活動に参画する人材の育成を目指して～ 〔講義〕 地域活動に参画する人材の育成を目指した生涯学習・社会教育の推進について 生涯学習推進センター職員 〔事例発表〕 ①函館黒船地域活性化協議会会長 小林 一輝 氏 ②木古内町教育委員会生涯学習課 社会教育グループ主査 西山 敬二 氏 〔ワークショップ〕 地域活動に参画する人材の育成を目指して 生涯学習推進センター職員 〔個別相談〕 生涯学習推進センター職員
(道東会場) 根室管内	標津町 10月 2日(木) (1日間)	33/30 (31/30)		〔研修テーマ〕 社会の要請にこたえた生涯学習・社会教育の推進について ～社会教育主事・社会教育担当職員の専門性を生かすために～ 〔講義〕 生涯学習・社会教育に関する動向について 生涯学習推進センター職員 A：〔講義・演習①②〕 社会教育事業の企画立案を体験 生涯学習推進センター職員 B：〔ワークショップ①②〕 社会教育主事・社会教育担当職員として必要なものを整理 生涯学習推進センター職員 〔個別相談〕 生涯学習推進センター職員
	〔会場〕 標津町生涯学習センターあすばる			
(道北会場) 留萌管内	苫前町 6月27日(金) (1日間)	35/30 (21/30)		〔研修テーマ〕 社会の要請にこたえた生涯学習・社会教育の推進について ～住民が主体となって地域課題の解決を図るために～ 〔講義〕 生涯学習・社会教育に関する動向について 生涯学習推進センター職員 〔演習〕 ファシリテーターの役割及び手法について 生涯学習推進センター職員 〔グループワーク〕 地域における現状・課題から解決策について 生涯学習推進センター職員 〔個別相談〕 生涯学習推進センター職員
	〔会場〕 苫前町公民館			
(合計)		141/120 (88/120)		
生涯学習推進 専門講座	札幌市 11月 6日(木) ～7日(金) (2日間)	42/30 (34/30)	市町村・市町村教育委員会職員、各種審議会委員(社	〔研修テーマ〕 協働(互助・共助)によるまちづくり・人づくり ～新たな施策(事業)構築に向けた

	〔会場〕 かでの 2・7		会教育委員、生涯学習審議会委員など)、生涯学習関連施設(児童館、勤労青少年センターなど)職員、生涯学習・社会教育行政担当者等	<p>地域の実態把握の手法を知る～〔講演〕 協働(互助・共助)を効果的に進めるための基盤づくりの技法 宇都宮大学地域連携教育研究センター准教授 佐々木 英和 氏</p> <p>〔ワークショップ〕 協働(互助・共助)の仕組み・仕組み・仕掛けをグループ学習しよう! 宇都宮大学地域連携教育研究センター准教授 佐々木 英和 氏</p> <p>〔事例研究〕 住民の協働による施策(事業)～実践事例に学ぶ～ ＜発表者＞ ①夕張市教育委員会社会教育主事 木村 愛 氏 ②札幌市市民まちづくり局市民自治推進室市民活動促進担当課NPO 法人審査担当係長 長尾 隆男 氏</p> <p>〔意見交換〕 グループ内での交流及び事例発表者を含めた意見交換 生涯学習推進センター職員</p> <p>〔講義〕 まちづくり・人づくりにつながる社会教育調査とデータ活用 ～新たな施策(事業)構築に向けた地域の実態把握の課題と方法について学びます～ 北海道大学大学院教育学研究院教授 宮崎 隆志 氏</p> <p>〔ふりかえり〕 生涯学習推進センター職員</p>
地域生涯学習活動実践交流セミナー	平成27年 2月17日(火) ～18日(水) (2日間) 〔会場〕 かでの 2・7	289/200 (257/200)	生涯学習・社会教育を担当する行政職員、生涯学習・社会教育関連施設及び青少年教育施設等の職員、生涯学習・社会教育関係団体の職員、生涯学習・社会教育関係団体の各種委員等	<p>〔研修テーマ〕 「新しい公共」の担い手を育む社会教育行政の在り方 ～住民の社会参画促進のための社会教育施策の展開について～</p> <p>〔基調講義〕 地域のために「共に活動する」住民の絆とネットワークづくり 九州女子大学共通教育機構教授 大島 まな 氏</p> <p>〔パネルディスカッション〕 道央(空知)山口氏、道北(留萌)下田氏、道南(日高)橋本氏、道東(十勝)牧野氏、コーディネーター 生涯学習推進センター職員</p> <p>〔道立生涯学習推進センター調査研究報告〕 生涯学習推進センター職員</p> <p>〔事例発表・協議〕 2/17 空知、檜山、上川、釧路 2/18 後志、渡島、留萌、オホーツク 8管内の発表及び協議</p> <p>〔特別講演〕 「スポーツコミュニティ」スポーツと生活が近くにある社会の実現 株式会社北海道日本ハムファイターズ代表取締役社長 津田 敏一 氏</p>

(2) 自主研修団体受入事業
ア 事業概要

事業名	期日	対象	内容
自主研修団体受入	通年	市町村・市町村教育委員会職員、生涯学習・社会教育関係団体職員等	生涯学習・社会教育関係者等が行う自主的な研修に対する助言や指導等を行う。

イ 受入状況

(ア) 対象別受入状況（1月末日現在）

対象	道内							道外	その他	合計	前年 同月比
	市町村教委 事務局職員	道教委 事務局職員	その他の 行政職員	社会教育関係 各種委員	社会教育 関係団体	学校	企業・ 民間事業所	道外	その他		
H26団体数	21	0	1	0	1	3	2	1	0	29	+14
H25団体数	11	0	1	0	2	0	0	1	0	15	H25総計15
H26人数	34	13	0	0	10	4	4	2	0	67	+47
H25人数	11	0	1	0	7	0	0	1	0	20	H25総計20

(イ) 研修テーマ別受入状況（1月末日現在）

テーマ	用語概念	文献・資料	生涯学習 全般	生涯学習 計画	社会教育の 内容、 方法、 形態	社会教育 調査	社会教育 計画	学習情報 提供・ 学習相談	社会教育 施設	社会教育の 対象の 理解	指導者 養成	先進 事例	現代的 課題	その他	合計	前年 同月比
H26団体数	0	0	6	2	5	0	9	4	2	0	0	1	0	0	29	+14
H25団体数	0	1	1	0	1	0	1	6	1	0	1	0	0	3	15	H25総計15
H26人数	0	0	15	2	5	0	12	16	7	0	0	10	0	0	67	+47
H25人数	0	1	6	0	1	0	1	6	1	0	1	0	0	3	20	H25総計

(3) 職員派遣事業
ア 事業概要

事業名	期日	対象	内容
職員派遣	通年	「職員の講師派遣に関する取扱要領」に基づく対象団体が主催（主管）する研修会等	生涯学習・社会教育に関する研修会等を主催する団体からの要請に基づき、職員を派遣し、研修会等において指導や助言等を行う。

イ 派遣状況

(ア) 主催者別派遣状況（1月末日現在）

主催者	市町村、市町村 教育委員会	社会教育 関係団体	学校、教 育研究所	民間団体	国、道、道 教育委員会等	合計	前年 同月比
H26	1	8	1	0	7	17	-2
H25	2	10	0	0	7	19	H25総計19

(イ) 領域別派遣状況（1月末日現在）

領域	生涯学習・社 会教育の推 進	指導者 養成・研 修	社会教育 施設の運 営	まち づくり	体験活動・ボ ランティア活 動	家庭教 育支援	情報機器 の活用	学習情報 提供・ 学習相談	男女平 等参画	青少年 教育	高齢者 教育	生涯 スポーツ	その他	合計	前年 同月比
H26	10	2	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	2	17	-2
H25	10	5	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1	0	19	H25総計19

3 学習情報の提供・相談

(1) 学習情報提供

事業名	期 日	対 象	内 容															
ホームページ 『生涯学習ほっかい どう』	通 年	道民、行政関係者、 学校教育関係者、 社会教育関係団体 等	道民の様々な学習活動を支援するため、インターネットで学習情報を提供する北海道の生涯学習情報のポータルサイトを運営している。URL http://manabi.pref.hokkaido.jp/ ※アクセス数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>Top ページ (件)</th> <th>サイト内 (件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>54,559</td> <td>1,629,899</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>50,936</td> <td>1,491,706</td> </tr> <tr> <td>前年同月比</td> <td>+3,623</td> <td>+138,193</td> </tr> <tr> <td>H25総件数</td> <td>61,177</td> <td>1,761,835</td> </tr> </tbody> </table>		Top ページ (件)	サイト内 (件)	H26	54,559	1,629,899	H25	50,936	1,491,706	前年同月比	+3,623	+138,193	H25総件数	61,177	1,761,835
	Top ページ (件)	サイト内 (件)																
H26	54,559	1,629,899																
H25	50,936	1,491,706																
前年同月比	+3,623	+138,193																
H25総件数	61,177	1,761,835																
生涯学習情報紙 『北のまなび』	6月30日 第77号発行 8月29日 第78号発行 11月28日 第79号発行 1月29日 第80号発行	道民、市町村教育 委員会等	道民の様々な学習活動を支援するため、情報紙を発行している。学習相談や学習成果の活用を中心に掲載し、センター事業の利用啓発を行っている他、発行直近の研修事業や道民カレッジ情報など、生涯学習に関わるタイムリーな話題等を掲載している。															
『研修会だより』	6月5日 第23号発行 7月17日 第24号発行 10月8日 第25号発行 10月31日 第26号発行 11月4日 第27号発行 11月28日 第28号発行 12月17日 第29号	市町村教育委員会 等	当センターの研修事業に関する情報等を掲載し、市町村教育委員会職員等に広く提供するとともに、研修のふりかきや研修会に参加されていない方には、自己研鑽の資料として活用していただけるように当センターの研修会実施後に発行している。															

(2) 学習相談

ア 事業概要

事業名	期 日	対 象	内 容
学習相談 「まなびウイング」	月～金曜日 (祝日・休日、 年末年始を除く) 9:00～17:00	道民、行政関係者、 学校教育関係者、 社会教育関係団体 等	学習相談員等により道民の生涯学習活動支援のための学習相談を行う。 【相談場所】 ・かでの2・7ビル8階 生涯学習相談室（まなびウイング） 【相談方法】 ・面接による相談（直接来所） ・電話、ファクス、メール等による相談 【相談内容】 ・文献・資料、生涯学習計画・社会教育計画、 社会教育調査・評価、施設・団体、学習機会・ 各種事業、講師・指導者、資格・各種制度等

イ 相談状況（1月末現在）

項 目		計	(H25)
所 属	1 一般道民	77	60
	2 行政関係者	50	41
	3 学校教育関係者	38	18
	4 各種団体関係者	15	13
	5 その他	1	1
	計		181
		前年同月比	
		+48	
		H25総計145	

項 目		計	(H25)
相 談 内 容	1 文献・資料	0	1
	2 生涯学習計画・社会教育計画	0	0
	3 社会教育調査・評価	0	0
	4 施設・団体	0	1
	5 学習機会・各種事業	2	3
	6 講師・指導者	72	71
	7 資格・各種制度	0	0
	8 家庭教育相談	50	—
	9 生涯学習・社会教育全般	38	—
	10 その他	19	57
計		181	133
		前年同月比	+48

H25総計 145

(3) 家庭教育相談
ア 事業概要

事業名	期 日	対 象	内 容
家庭教育相談 『子育て カウンセリング』	火～金曜日 (祝日・休日、 年末年始を除く) 13:00～17:00 1回約1時間 (要事前予約)	子育てに 関する不安や 悩みを抱く 親等	臨床心理士による無料の相談を行う。 【相談場所】 ・かでの2・7ビル8階 カウンセリング室 【相談方法】 ・原則として面接による相談 【申込方法】 ・予約受付 毎週月曜日～金曜日 9:00～17:00 (祝日・休日、年末年始を除く) 電話/FAX: 011-261-4545 E-mail: kosodate@manabi.pref.hokkaido.jp

イ 相談状況（1月末現在）

(7) 相談者内訳

性 別	女 性						男 性						計	前年 同月比
	~20代	30代	40代	50代~	不明	小 計	~20代	30代	40代	50代~	不明	小 計		
面 接	0	80	223	60	2	365	2	0	11	19	0	32	397	△37
(H25)	21	78	214	64	0	377	38	1	4	14	0	57	434	H25総計 519
電話等	0	2	4	4	0	10	0	0	0	0	0	0	10	+5
(H25)	1	1	0	2	0	4	1	0	0	0	0	1	5	H25総計 8
計	0	82	227	64	2	375	2	0	11	19	0	32	407	△32
(H25)	22	79	214	66	0	381	39	1	4	14	0	58	439	H25総計 527

(イ) 相談内容等（重複あり）

項 目		面接	(H25)	電話等	(H25)	計	(H25)
親子関係	育児	14	19	0	0	14	19
	しつけ	50	52	0	0	50	52
	虐待（身体・性・心理・ネグレクト）	0	0	0	0	0	0
	性教育	0	0	0	0	0	0
	家族関係（父母・兄弟姉妹）	178	165	1	3	179	168
	発達	149	130	0	1	149	131
	その他	0	3	0	3	0	6
学校関係	不登校	80	102	7	0	87	102
	いじめ	0	2	0	0	0	2
	友人関係	12	23	0	0	12	23
	進路	27	12	2	1	29	13
	学業	31	17	1	0	32	17
	学校（担任）への不満	5	5	1	0	6	5
	学級への不満	0	0	0	0	0	0
救護関係	その他	3	14	0	0	3	14
	異性問題	0	1	0	0	0	1
	非行・暴力	1	1	0	0	1	1
	外泊	1	1	0	0	1	1
	家出	0	0	0	0	0	0
	性格・行動（内気・反抗・習癖）	48	37	0	0	48	37
	たばこ・飲酒	2	6	0	0	2	6
その他	薬物乱用	0	0	0	0	0	0
	その他生活全般	3	3	0	0	3	3
	交友関係	39	53	0	0	39	53
	身体関係	5	1	0	0	5	1
	心身症	20	17	0	3	20	20
	うつ状態・ノイローゼ	40	17	0	0	40	17
	ひきこもり	6	3	0	0	6	3
その他	13	24	0	0	13	24	
合 計		727	708	12	11	739	719
	前年同月比	+19	H25総計 850	+1	H25総計 14	+20	H25総計 864

(4) 資料の収集、展示及び提供〔情報交流広場（まなびの広場）〕（委託）

事業名	期 日	対 象	内 容
ア 情報交流広場	通 年	道 民	道民カレッジに関わる相談や情報提供をはじめ、生涯学習に関する図書、資料、パンフレットなどを展示・提供するとともに、道内市町村・団体の生涯学習への取組や学習成果等の発表や紹介の場を提供している。また、自主学習サークルやボランティアの交流促進のためミーティングスペースを設置している。
イ 道民カレッジ 情報コーナー			道民カレッジに関わる相談及び情報を提供している。 ・入学・称号取得手続及び相談 ・講座受講の相談 ・ガイドブック、パンフレット、大学放送講座チラシ、連携講座関係資料等の提供
ウ 展示コーナー			道内市町村及び生涯学習関係団体の取組や学習成果等の発表・紹介を行っている。 ・応募のあった市町村・団体の取組の紹介及び作品の展示（次項参照）
エ ふるさと コーナー			北海道に関わる図書をはじめ、道内市町村の広報誌や情報誌、パンフレット及び団体の文芸誌などの紹介・提供を行っている。 ・地方新聞 ・市町村広報紙、パンフレット ・文芸誌 ・北海道関係図書・資料
オ ビデオレファレンス コーナー			道民の申し出により、一般教材及び「大学インターネット講座」DVD、「大学放送講座」録画ビデオ等の試写を行っている。

平成26年度 まなびの広場展示実施団体

番号	実施期間	実施団体名	実施内容
1	4月21日(月)～4月30日(水)	北海道文化財保護協会	北海道文化財保護協会の活動概要
2	5月5日(木)～5月23日(金)	北海道文化財保護協会	北海道文化財保護協会の活動概要
3	6月4日(水)～6月30日(月)	北海道立青少年教育施設展運営事務局	北海道立青少年体験活動支援施設PR展
4	7月1日(火)～7月31日(木)	札幌ユネスコ協会	ユネスコのPR展示
5	8月18日(月)～8月29日(金)	和紙ちぎり絵「にじの会」	和紙ちぎり絵作品展
6	9月1日(月)～9月12日(金)	大窪淑絵と彫刻家	スケッチと彫刻のコラボレーション
7	9月16日(火)～9月30日(火)	北海道立特別支援教育センター	特別支援学校展
8	10月1日(水)～10月15日(水)	「ほっかいどう学」大学インターネット講座実行委員会	「ほっかいどう学」大学インターネット講座展
9	10月16日(木)～10月31日(金)	絵画サークル「タンポポ」	身近な自然や風景の絵画展示
10	11月4日(火)～11月14日(金)	国立大雪青少年交流の家	国立大雪青少年交流の家紹介パネル展
11	11月17日(月)～11月28日(金)	国立日高青少年自然の家	国立日高青少年自然の家の紹介と展示
12	12月1日(月)～12月26日(金)	北海道文化財保護協会	南総里美八犬伝展
13	1月5日(月)～1月30日(金)	(公財)北海道生涯学習協会	道民カレッジの歴史

1月末現在：13団体（前年度同月：12団体、H25総計末：14団体）

4 学習機会の提供

道民カレッジ事業（委託）

事業名	期日・場所	内容
ほっかいどう生涯学習ネットワークカレッジ（道民カレッジ）事業	通 年 全道各地	<p>道民の専門的・多様化する学習ニーズに対応するため、産学官の連携による生涯学習を支援する体制の整備を図り、様々な学習機会を体系的に構築・提供することによって、道民の生涯学習をより一層振興するとともに、自立した北海道を創造する人材を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「学びたいという意思」を唯一の入学資格とする「北海道の生涯学習の学園」 ◇全道各地で開催されている講座をだれもが受講可能 ◇自分が学びたい講座を選び、自分を高めるとともに、学習成果を地域等で活用 ◇学生数 26,761人（H27年1月末） （H25同月：26,171名 H25総計：26,248名）
ア 主催講座 （ア）「ほっかいどう学」大学インターネット講座	平成26年 11月～	<p>道内の大学と連携しながらインターネットにより広く道民に高度な学習機会を提供し、北海道への興味・関心を高め、地域についての学びを深めるきっかけとすることを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○8大学参加（札幌大学、北翔大学、北星学園大学、北海学園大学、北海道医療大学、北海道教育大学、北海道情報大学、北海道大学） ○講座内容：北海道の地域課題をテーマとした内容 ○レポート提出者数：197名（H27年1月末） ○講座視聴者数（8講座）1,861名（H27年1月末）
（イ）「ほっかいどう学」地域活動推進講座	平成25年 6月～ 平成26年 3月	<p>地域の様々な機関との協働を進めるためのコミュニケーションスキルの向上を図る学習プログラムを市町村（広域を含む）や団体等との連携により開発・実施することで、地域活動やまちづくりに貢献する人材を育成する参画型の講座である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○講座回数：2圏域6回（H27年1月末） ○受講者数：延べ215人（H27年1月末）
イ 連携講座	通 年 [前期 4～9月] [後期 10～3月] 全道各地	<p>道民カレッジに賛同する高等教育機関、市町村、民間教育事業者及びNPO団体等が主催する事業等を連携講座として登録している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○講座数 2,921講座（H27年1月末） （H25同月：2,869講座 H25総計：2,895講座） ○受講者数 62,208人（H27年1月末） （H25同月：59,602名 H25総計：81,664名） ○コース「ほっかいどう学」、「能力開発」、「環境生活」、「健康・スポーツ」、「教養」の5コースに分類

5 教育メディアの利用促進

(1) 視聴覚教育に関する教材の収集・整備

事業名	期 日	対 象	内 容
視聴覚教材 収集・整備事業	通 年	官公庁、社会教育施設等、学校、社会教育関係団体、民間団体等	学習活動に必要な視聴覚教材を収集・整備し、市町村や関係団体等の生涯学習活動を支援している。

視聴覚教材分野別整備状況

家庭生活・趣味	学校教育	社会教育・福祉	教養	芸術・芸能	産業・技術	市民生活国際理解	体育・スポーツ	その他	計
225	1,111	898	1,050	846	375	617	134	65	5,321

(2) 視聴覚教育に関する教材の貸出し（委託）

事業名	期 日	対 象	内 容
視聴覚教材貸出 事業	通 年	官公庁、社会教育施設等、学校、社会教育関係団体、民間団体等	学習活動に必要な視聴覚教材の貸出しを行い、市町村や関係団体等の生涯学習活動を支援している。

平成25年度視聴覚教材利用団体別貸出状況

区 分	官公庁	社会教育施設等	学校	社会教育関係団体	民間団体	その他（個人含）	計	前年同月比	H25総数
件 数	11	32	7	8	49	0	107		
(H25)	15	36	11	15	52	0	129	△22	197
本 数	29	55	22	27	78	0	211		
(H25)	39	85	40	40	81	0	285	△74	413
人 数	627	1,544	1,390	551	1,132	0	5,244		
(H25)	605	1,609	1,128	696	987	0	5,025	219	7,625

平成26年度新着教材リスト

No	タイトル	サブタイトル	内容	上映時間	製作年	綱目分類
1	「熱中症」もしもの時の応急処置マニュアル		熱中症はスポーツの時だけではなく、一般生活の中でも起こる。熱中症を症状ごとに解説し、応急処置と予防法について説明しています。	15分	2005	教養
2	世界遺産富士山 信仰の対象と芸術の源泉		美しい富士山の映像を厳選。世界遺産登録の決め手となった富士山の価値をわかりやすく解説しています。	25分	2013	教養
3	綾小路きみまろ 爆笑！最新ライブ名演集		2012年に行われた講演の中から3つのライブステージを収録。爆笑ネタから新ネタまでを披露しています。	62分	2013	芸術・芸能
4	生き抜く 南三陸町 人々の一年ドキュメンタリー映画		被災地の日常を記録することにこだわり、生と死が混在し続ける被災地を見つめ続けたドキュメンタリー作品です。	99分	2013	市民生活・国際理解
5	命を守れますか？ 地しんのときつ波のとき		東日本大震災から学ぶ、小学生が自らできる命を守る対策をわかりやすく説明しています。	21分	2014	教育・福祉
6	幼い命を守れ！ どう教える「避難の方法」 幼稚園、保育所の防災対策	～早期発見が大切ないのちを守る～	幼稚園や保育所の指導者向けに、災害発生時、幼児がすぐに身を守る行動ができるようにするための指導の工夫が紹介されています。	23分	2014	教育・福祉
7	地域に生きるボランティア		少子化と高齢化にさらされている地域を支える力となるのは、人と人とのつながりです。それを自ら広げていくボランティアの実態を紹介しています。	20分	1999	市民生活・国際理解
8	身近な人権問題 人権は小さな気づきから		人権問題8項目を題材に、身近な人権問題に気づき、普段の生活の中で人権問題を意識させ、考えさせるものです。	34分	2014	教育・福祉
9	阿藤快の あっ、と撃退！ 悪質商法 お年寄りを守るご近所の力		高齢者をターゲットとした悪質商法による被害が増加、被害にあわないために高齢者自らが関心を持ち、周囲の人たちとの交流を密にすることの大切さを描いたものです。	22分	2012	市民生活・国際理解
10	がんばれ！子象の交通パトロール隊		幼児が楽しく学べる交通安全のアニメです。	17分	1984	教育・福祉
11	レイチェル・カーソンの感性の森		環境保護のパイオニアであるレイチェル・カーソンの著書「センス・オブ・ワンダー」の一人芝居を18年間続けた女優が、家族や著書、自然の大切さについて語る作品です。	55分	2008	市民生活・国際理解
12	危険な脱法ハーブ 中・高校生に広がる違法ドラッグ		違法ドラッグが身体にどのような影響を与えるのかその危険性を科学的に検証し、法律的にどうして違法なのかを交え、違法薬物に対する正しい知識を身につけさせる作品です。	20分	2014	教育・福祉
13	生徒・教員・保護者にSNSの安全な使い方解説するDVD	中高生生向	生徒本人に安全な使い方と心構え、保護者、教員にはSNSの基本知識と子ども、生徒に対してどのように安全な使い方をしどうするのかを解説する作品です。	各20分	2014	教育・福祉
14	生徒・教員・保護者にSNSの安全な使い方解説するDVD	保護者向			2014	教育・福祉
15	生徒・教員・保護者にSNSの安全な使い方解説するDVD	中高校教員向			2014	教育・福祉
16	悩まずアタック！ 脱・いじめのスパイラル		いじめ防止推進法が設立したことを機に、法務省が主催する全国中学生人権作文コンテストで法務大臣政務官賞を受賞した「いじめのスパイラル」を映像化し、いじめ問題を解決していく、一つの手がかりを提示した作品です。	33分	2014	教育・福祉
17	いじめゼロ宣言	～安心して楽しく通える学校にする～	「いじめ防止対策推進法」の成立により、いじめ防止組織の設置や基本方針の策定などが義務づけられている。法律に基づき、いじめ対策を講じている学校の活動を紹介しながら、いじめ防止について考えさせる作品です。	22分	2008	教育・福祉

18	真剣に考えよう 自転車のこと		実際に起きた自転車事故の裁判例を挙げ、交通事故の責任の重さを訴えるとともに、自転車は車両であるということを認識し、交通ルールの大切さを真剣に考えさせるものです。	16分	2011	市民生活・国際理解
19	海・青き大自然 THE BLUE PLANET (日本語版)	1 いのちの物語 The Blue Planet	世界的スケールで撮影された美しい貴重な映像、「海の博物誌」を未曾有のスケールで紹介。学校での環境学習の補助教材として勧めたい作品です。	各50分	2008	教養
20	海・青き大自然 THE BLUE PLANET (日本語版)	2 深海探検 The Deep				
21	海・青き大自然 THE BLUE PLANET (日本語版)	3 外洋のハンターたち Open Ocean				
22	海・青き大自然 THE BLUE PLANET (日本語版)	4 氷の海のサバイバル Frozen Waters				
23	海・青き大自然 THE BLUE PLANET (日本語版)	5 海の中の四季 Seasonal Seas	世界的スケールで撮影された美しい貴重な映像、「海の博物誌」を未曾有のスケールで紹介。学校での環境学習の補助教材として勧めたい作品です。	各50分	2008	教養
24	海・青き大自然 THE BLUE PLANET (日本語版)	6 サンゴ礁に生きる Coral Seas				
25	海・青き大自然 THE BLUE PLANET (日本語版)	7 潮流のドラマ Tidal Seas				
26	海・青き大自然 THE BLUE PLANET (日本語版)	8 海と陸のはざままで Coasts				
27	詩人 谷川俊太郎		谷川俊太郎自らの試作と反省を語る初の映像記録版。教育映像祭最優秀作品賞受賞です。	59分	2012	教養